



盤石な経営基盤の確立

Strengthen Management Bases

企業価値の最大化に向けて

「新・連結中期経営計画」をスタート。

石油製品を取り巻く環境の変化に対応するため、
2005年度よりコスモ石油グループの企業価値の
最大化を目指す「新・連結中期経営計画」を
スタートしました。

✦ 連結営業利益目標880億円

2006年に創立20年を迎えるコスモ石油グループでは、2005年を20年間の総仕上げと次の20年に向けて大きく飛躍するための重要なステップの年と位置づけています。そこで、石油製品を取り巻く環境変化も踏まえて、新たな成長を目指すべく「新・連結中期経営計画」をスタートしました。成長に向けた経営ビジョンとしては、従来から取り組んできたコスト削減に軸足を置いた戦略から収益を最大化する戦略に大きく方向を転換していきます。具体的には、積極的な設備投資により製油所・SSにおける競争力の強化と財務体質の強化、石油周辺事業である原油開発・石油化学事業の強化による事業領域の拡大の2つを重要施策として取り組み、収益力の向上を推進していきます。

単位:億円

✦ 連結収益目標・指標

2007年度収益目標

営業利益……………880億円
 経常利益……………820億円
 当期純利益……………412億円
 ROE……………13.6%

2007年度財務目標

有利子負債額……4,280億円
 株主資本……………3,200億円
 有利子負債依存度……32%
 株主資本比率……………24.1%

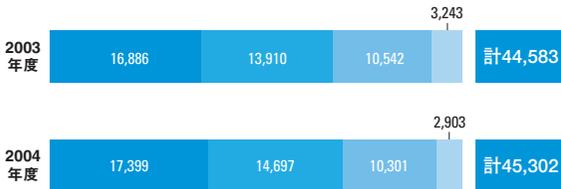
	2005年度	2006年度	2007年度
売上高	21,600	18,900	19,200
営業利益	710	770	880
経常利益	700	720	820
当期純利益	320	342	412
総資産	13,171	13,500	13,300
有利子負債額	4,662	4,480	4,280
株主資本	2,548	2,840	3,200
ROE	13.3%	12.7%	13.6%
ROA	2.4%	2.6%	3.1%
有利子負債依存度	35%	33%	32%
株主資本比率	19.3%	21.0%	24.1%

✦ 財務情報

製品別売上数量

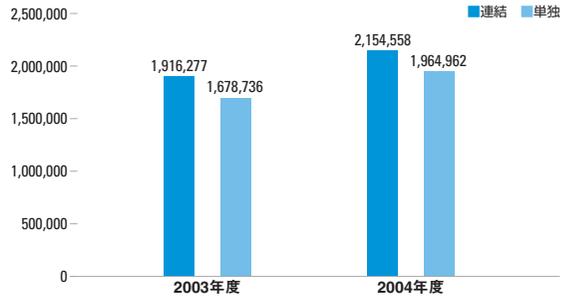
単位:千kl・t

■ガソリン・ナフサ ■灯油・軽油 ■重油 ■その他



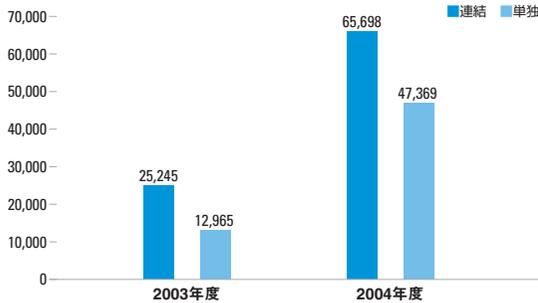
売上高推移

単位:百万円(百万円未満切捨)



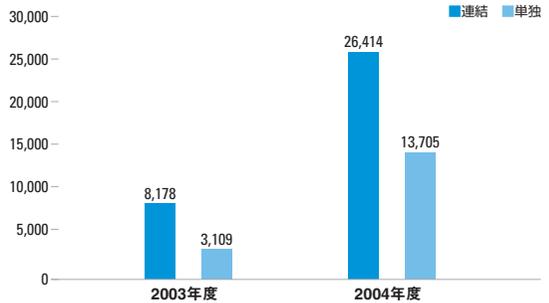
営業利益推移

単位:百万円(百万円未満切捨)



当期純利益推移

単位:百万円(百万円未満切捨)



✦ 環境経営への外部評価

FTSE4Good Global Index

フィナンシャルタイムズとロンドン証券取引所の共同出資会社で、様々な株価指数を発表しているFTSE社。コスモ石油は2005年も国際的な社会的責任投資株価指数であるFTSE4Good Global Indexに3年連続で組み入れられました。

環境ファンドへの組み入れ

環境問題への対応が優れている企業は、強い競争力を持ち投資に対して高い収益をもたらすという考えが一般化しています。日本の環境関連優良企業(エコ・エクセレントカンパニー)の中で、成長が期待できる企業の株式に投資する各種ファンドの銘柄に、コスモ石油は名を連ねています。

People's Voice



滝健一
 経理部 部長

社外のステークホルダーと直接接することのない経理も、実はCSRと深くかかわっています。その根底にあるのがコンプライアンス(法令遵守)。日々のお金の流れを税法や会計基準に照らしながら問題を提起し、すばやくリスク対策を講じていく——例えば、原油高騰で業績を見直す必要があれば、それを即座に情報開示するよう具申したり、あるいは不合理な商慣習を改善するように指導したり、力関係に屈することなく「NO!と云おう」が、今や私たちの合言葉になっています。また社員教育として、お金の決裁権を持つ管理職向けセミナーを開催。コンプライアンスの理解と実践を促しています。興味深いのは、受講者の“温度差”が年々狭まってきたこと。とにかく皆さん、熱心なのです。全社的な意識の高まりを感じる瞬間ですね。

Kenichi Taki